

ZENRIN

証券コード：9474

2018年3月期 第1四半期決算

2017年7月27日

株式会社ゼンリン

Maps to the Future

1. 2018年3月期 第1四半期決算概要

2. Appendix

注)本資料には、本資料作成日時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済の動向・市場需要・競合状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。
尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第2位四捨五入し小数点第1位まで記載しております。
また、増減率が1000%を超える場合、及び一方若しくは両方がマイナスとなる場合は「－」表記しております。

1. 2018年3月期 第1四半期決算概要

- 1) 決算概要
- 2) 売上高・利益の推移
- 3) 営業利益増減要因
- 4) セグメント情報
- 5) 中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高

1-1)決算概要

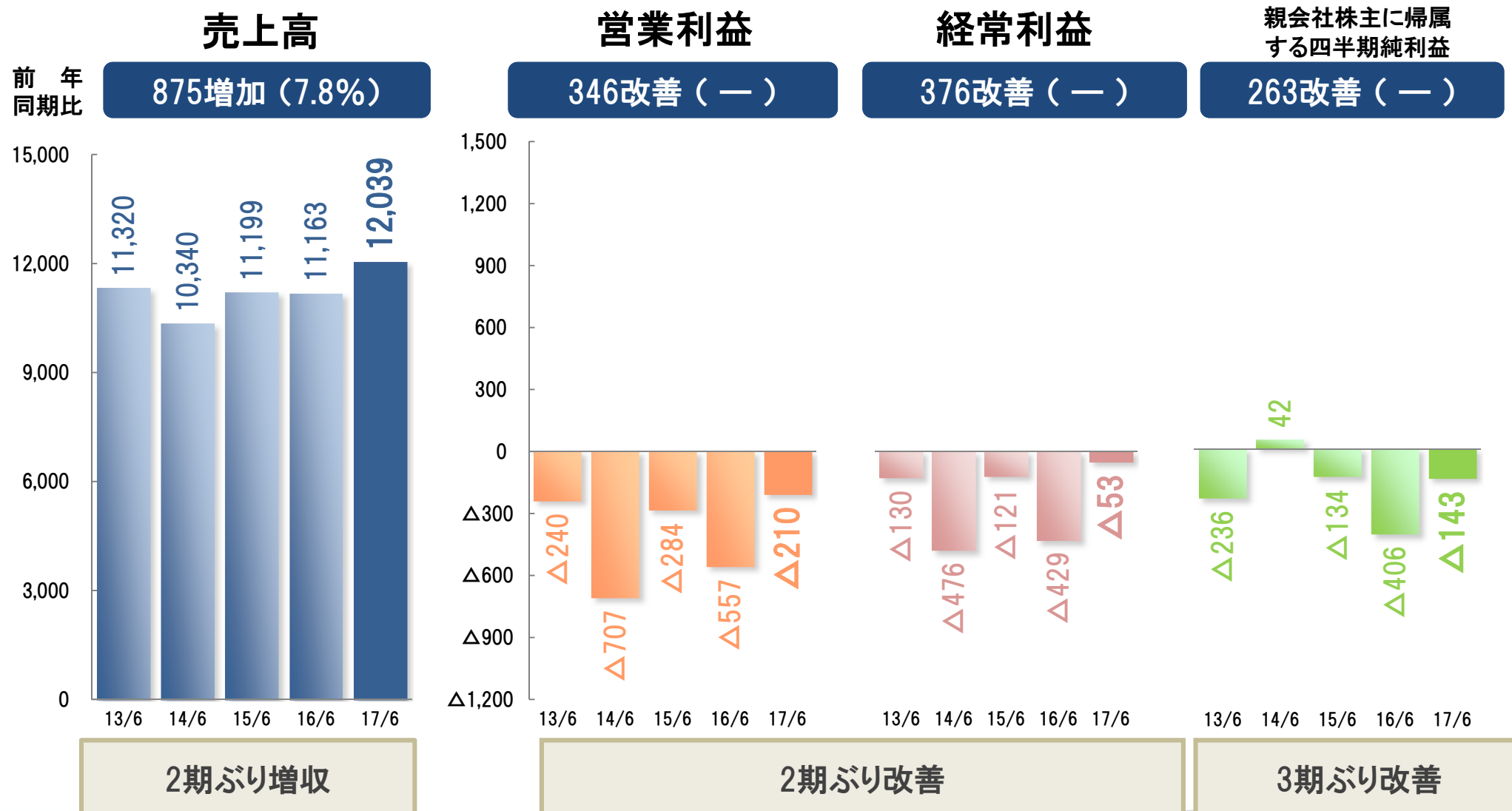
2018年3月期 第1四半期決算のポイント

- 売上高は2期ぶり増収、営業利益、経常利益は2期ぶり改善、親会社株主に帰属する四半期純利益も3期ぶりに改善
- 国内カーナビゲーション用データなどのITS関連の売上増加に加え、住宅地図データベースを活用したGIS関連の売上も堅調に推移
- 売上原価の増加に加え、人件費などの一般管理費が増加

(金額単位:百万円)

	2017年3月期 Q1実績	2018年3月期 Q1実績	前年同期比	増減率 (%)
売上高	11,163	12,039	875	7.8
営業費用	11,720	12,250	529	4.5
営業利益	△557	△210	346	—
営業利益率	△5.0%	△1.7%	3.3pt	
経常利益	△429	△53	376	—
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△406	△143	263	—

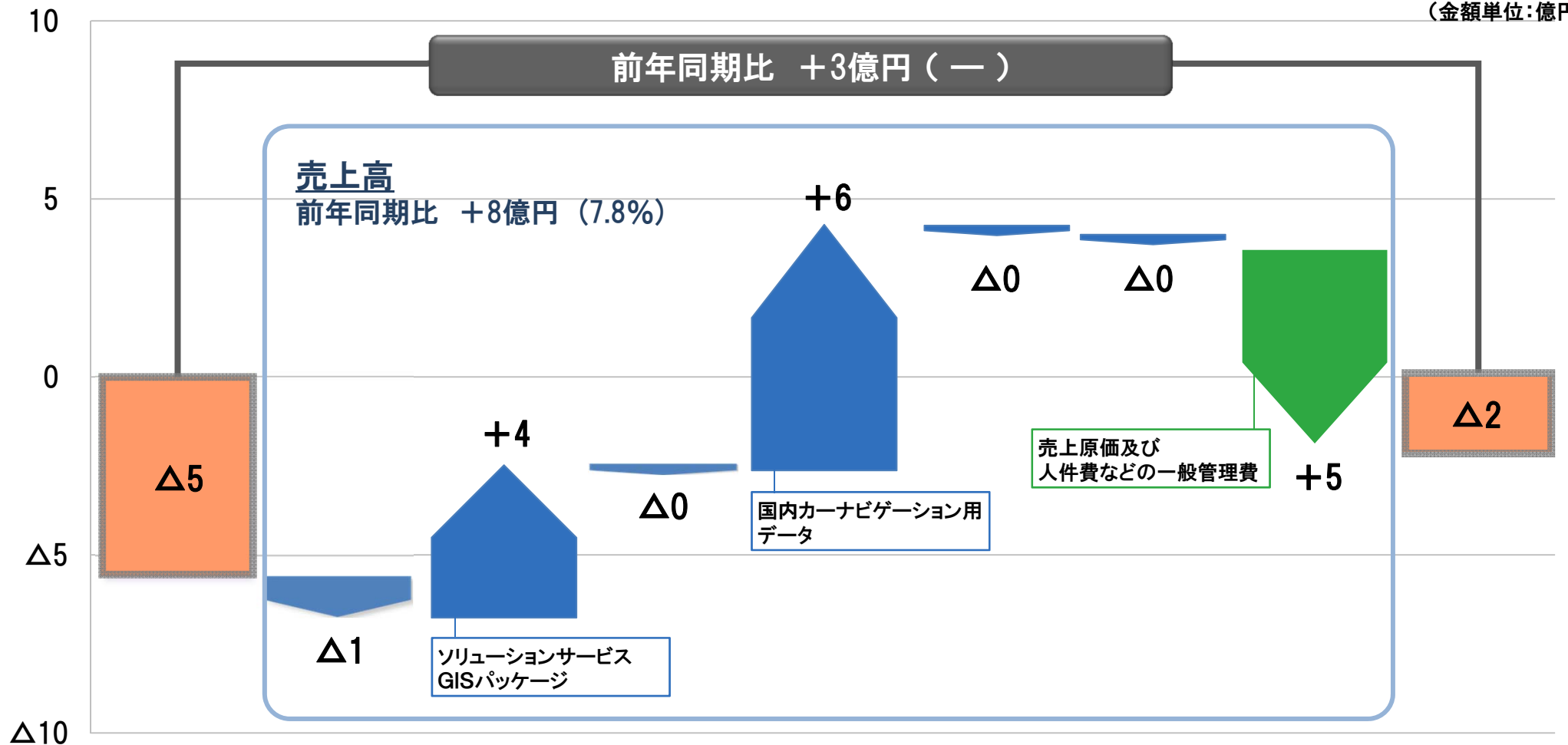
1-2)売上高・利益の推移



1-3) 営業利益増減要因

2018年3月期 第1四半期連結決算

(金額単位: 億円)



16/6 実績

出版事業

GIS事業

ICT事業

ITS事業

海外事業

その他事業

営業費用

17/6 実績

1-4)セグメント情報

売上構成
比率

83.8%

1. 地図データベース関連事業

主要品目等：住宅地図帳、住宅地図データベース
国内外カーナビ用地図データ
スマートフォン向けサービス
各種メディア・デバイスへの地図情報提供等



2. 一般印刷関連事業

主要品目等：商業印刷



9.5%

3. その他

主要品目等：仕入商品、デジタルサイネージ
ダイレクトメール発送代行、インシップ広告



1-4)地図データベース関連事業

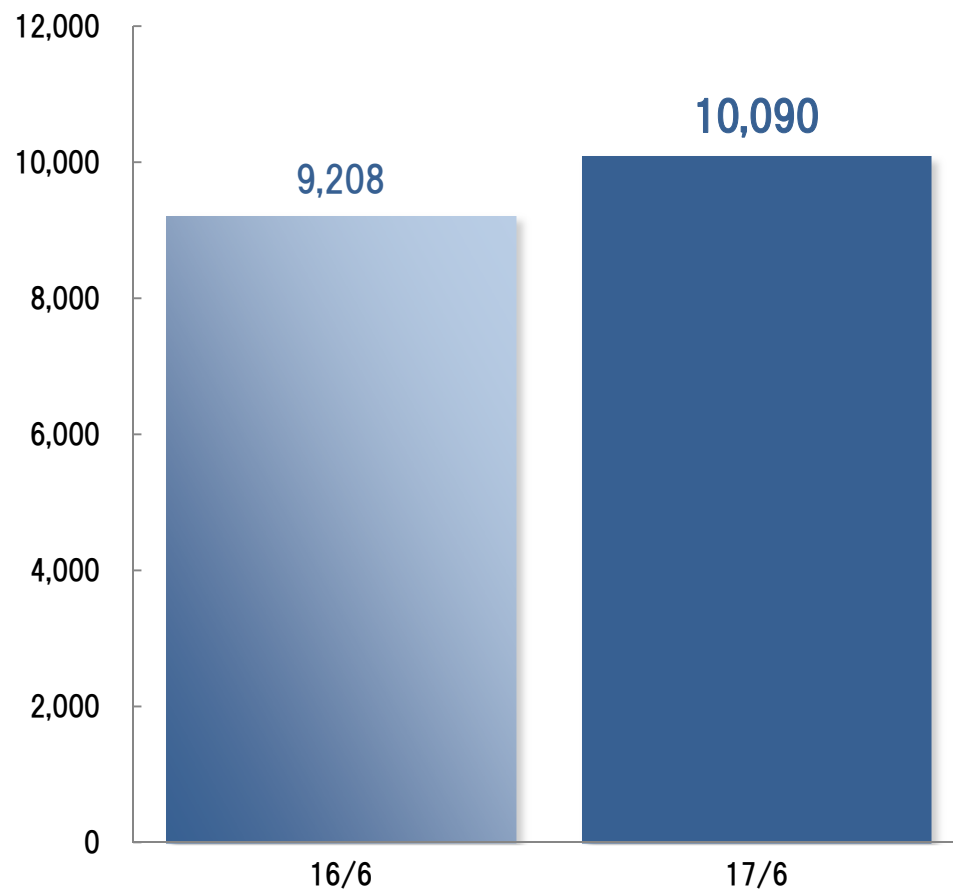
2018年3月期 第1四半期連結決算

(金額単位:百万円)

売上高

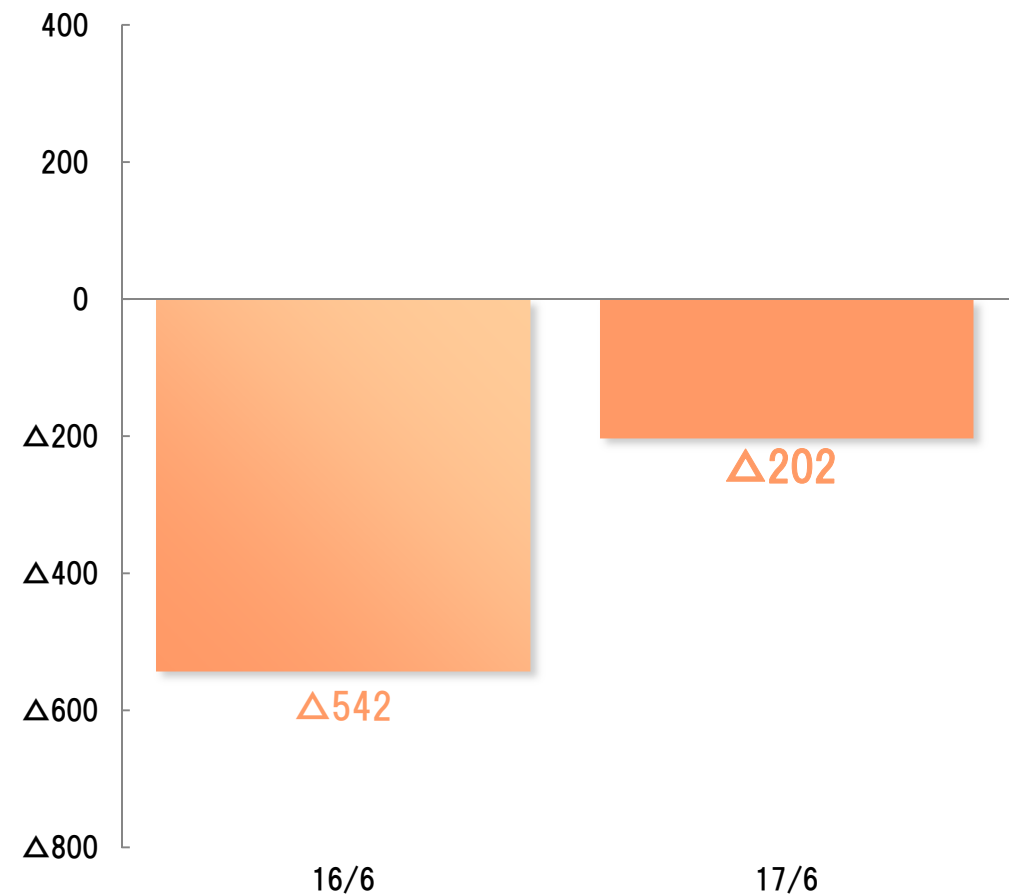
前 年
同期比

881増加 (9.6%)



営業利益

340改善 (一)

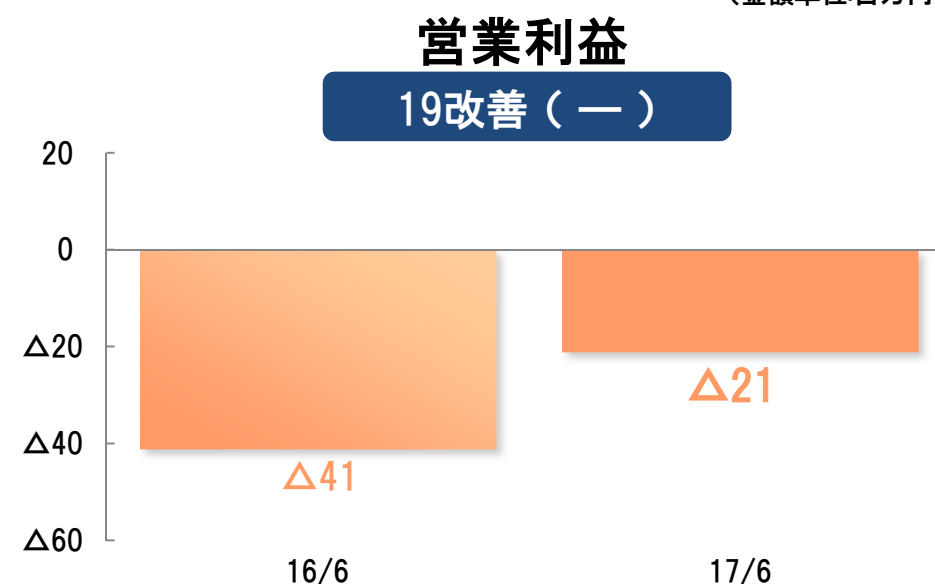
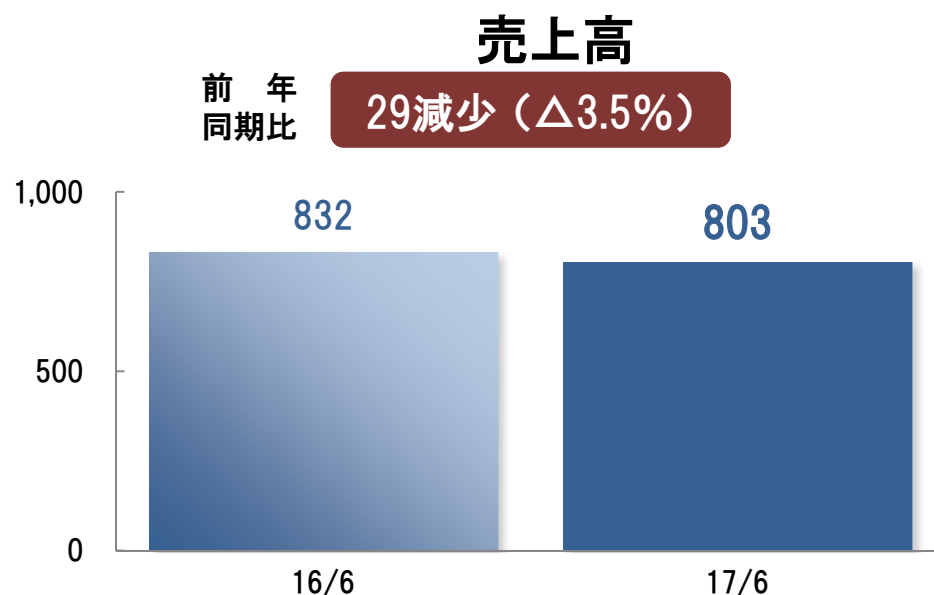


1-4)一般印刷関連事業・その他

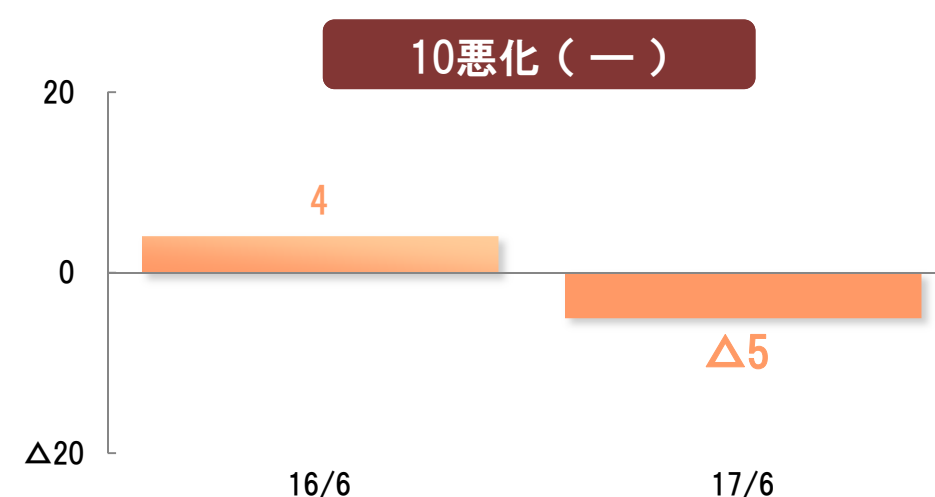
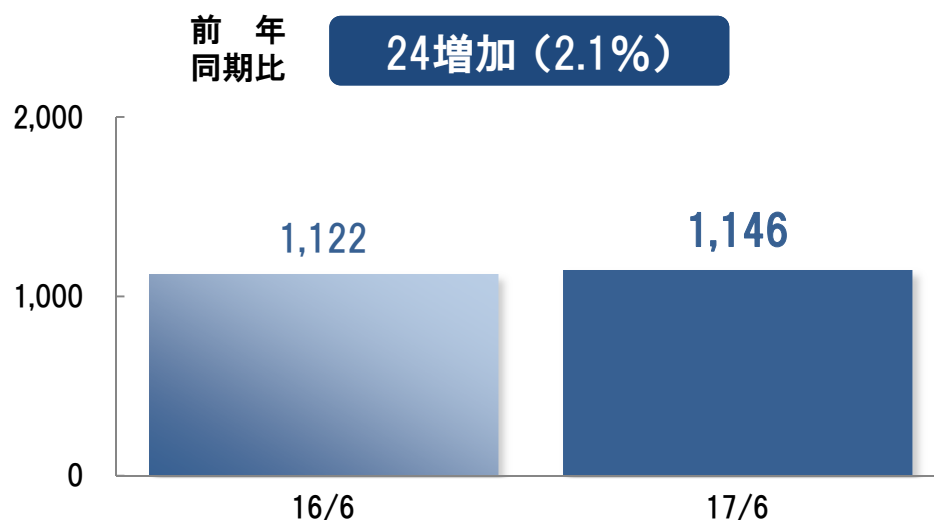
2018年3月期 第1四半期連結決算

(金額単位:百万円)

一般印刷関連事業



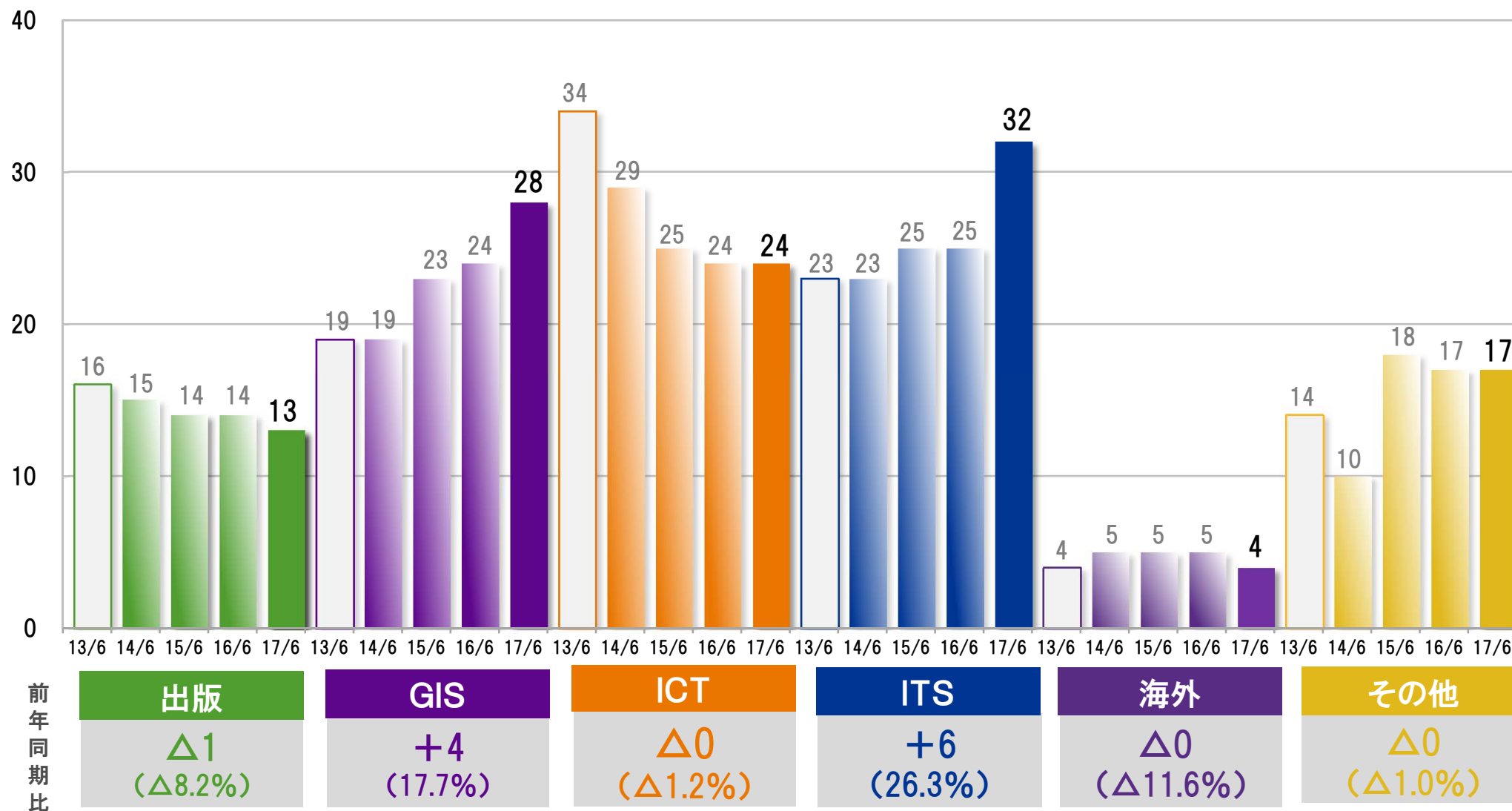
その他



1-5)中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高

2018年3月期 第1四半期連結決算

(金額単位:億円)



※2013年6月期はZGP2015の事業区分で集計した売上高

2. Appendix

- 1) 2018年3月期 第1四半期決算概要
設備投資額、減価償却費、研究開発費
- 2) 業績予想(5月8日公表値から変更なし)
- 3) 中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高
- 4) 四半期売上高構成比推移
- 5) 事業トピック

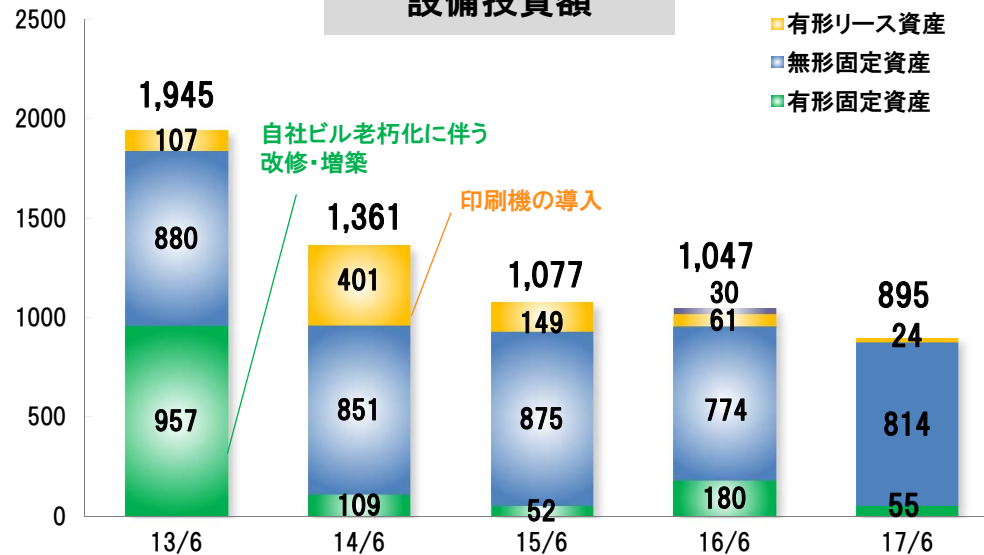
2-1)第1四半期決算概要(設備投資額、減価償却費、研究開発費)

2018年3月期 第1四半期連結決算

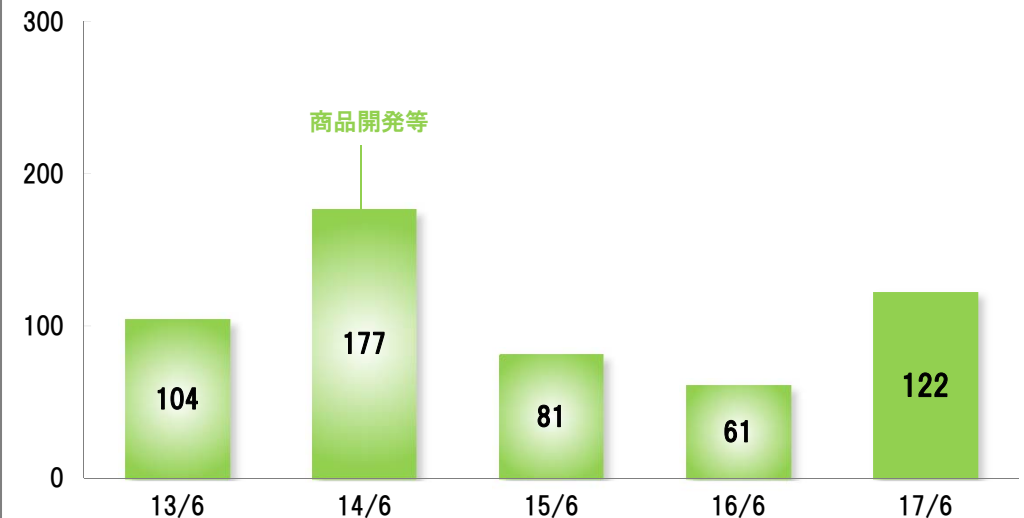
(金額単位:百万円)

設備投資額

- 無形リース資産
- 有形リース資産
- 無形固定資産
- 有形固定資産

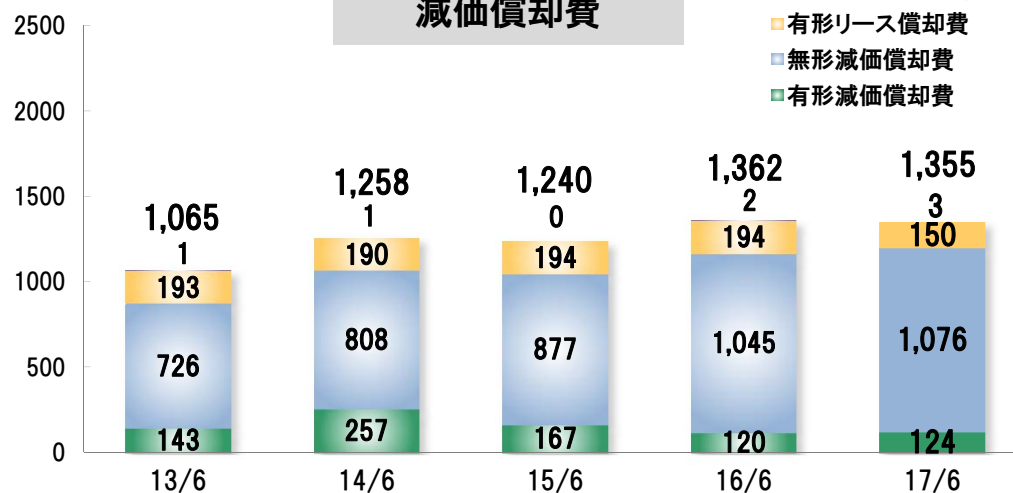


研究開発費



減価償却費

- 無形リース償却費
- 有形リース償却費
- 無形減価償却費
- 有形減価償却費



2-2)業績予想(5月8日公表値から変更なし)

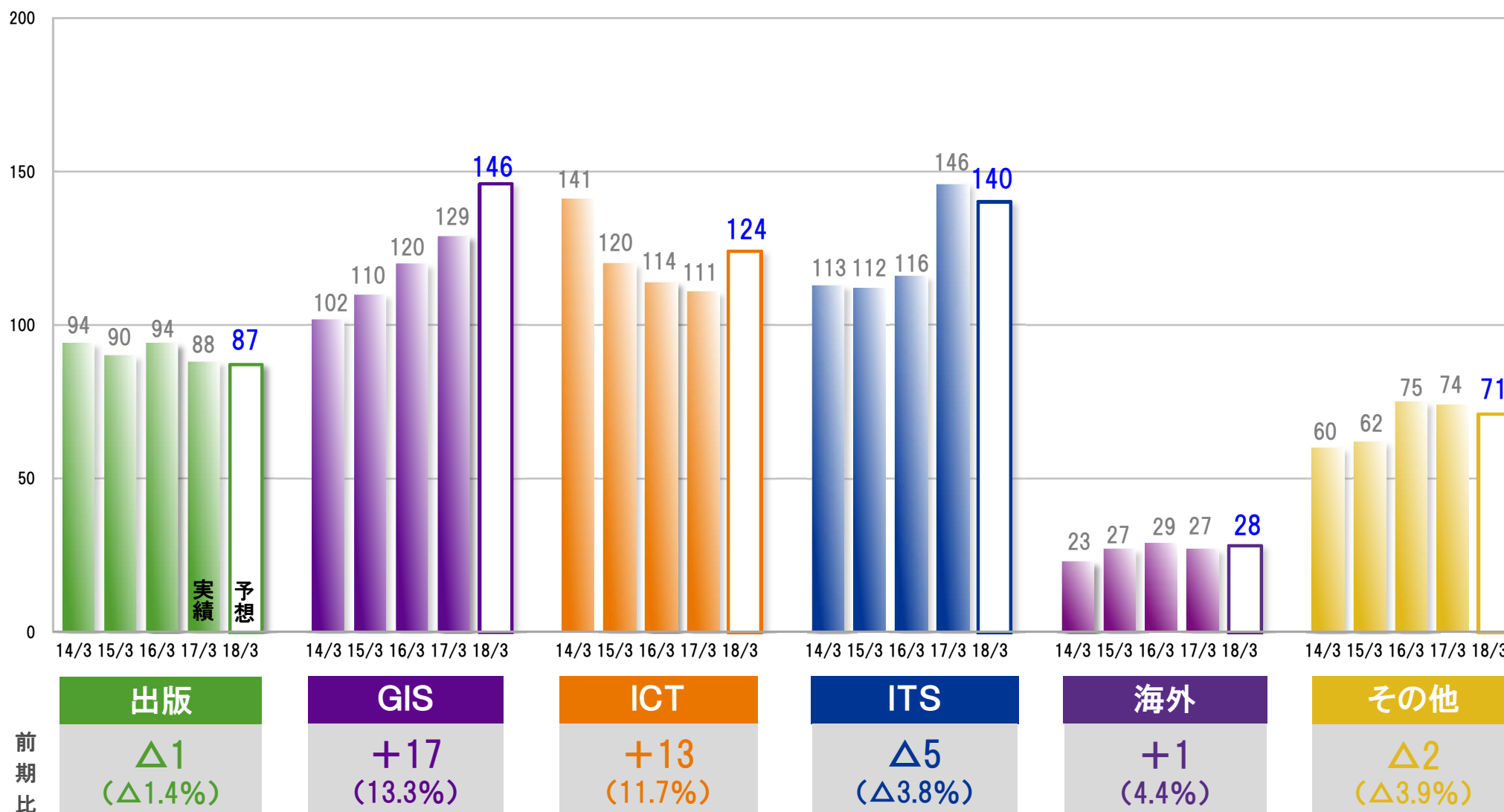
2018年3月期 第2四半期業績予想				
	2017年3月期 Q2実績	2018年3月期 Q2予想	前年同期比	増減率(%)
売上高	24,783	25,000	216	0.9
営業費用	25,161	25,000	△161	△0.6
営業利益 営業利益率	△378 △1.5%	0 —	378 —	—
経常利益	△207	0	207	—
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△387	0	387	—

2018年3月期 業績予想				
	2017年3月期 実績	2018年3月期 予想	前期比	増減率(%)
売上高	57,819	60,000	2,180	3.8
営業費用	53,584	55,500	1,915	3.6
営業利益 営業利益率	4,234 7.3%	4,500 7.5%	265 0.2pt	6.3
経常利益	4,527	4,700	172	3.8
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,462	2,700	237	9.7

2-3)中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高

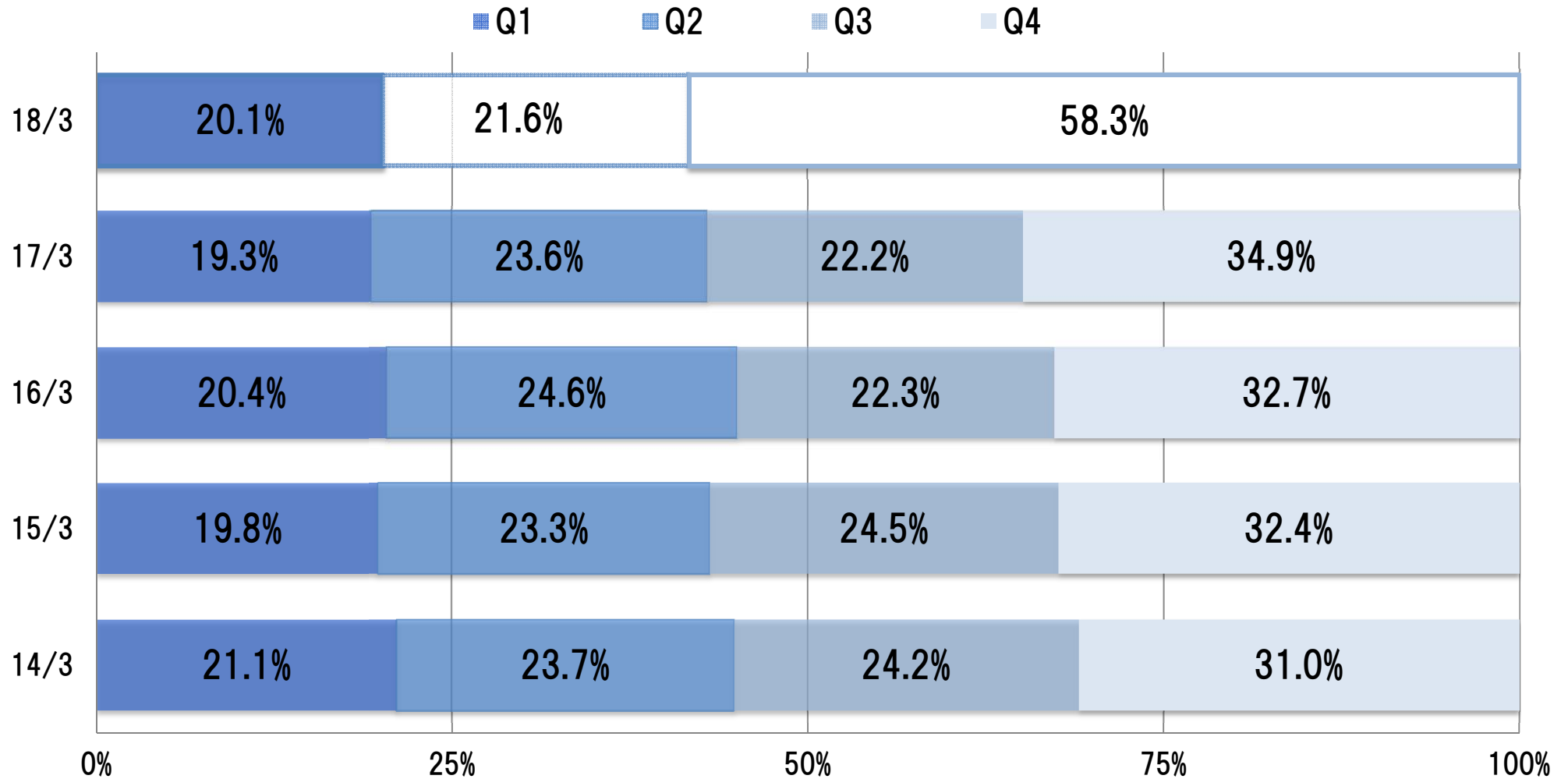
2018年3月期 第1四半期連結決算

(金額単位:億円)



2-4)四半期売上高構成比推移

2018年3月期 第1四半期連結決算



2-5)事業トピック

■「AIインフォテイメントサービス」の提供を開始

(2017年4月13日発表)

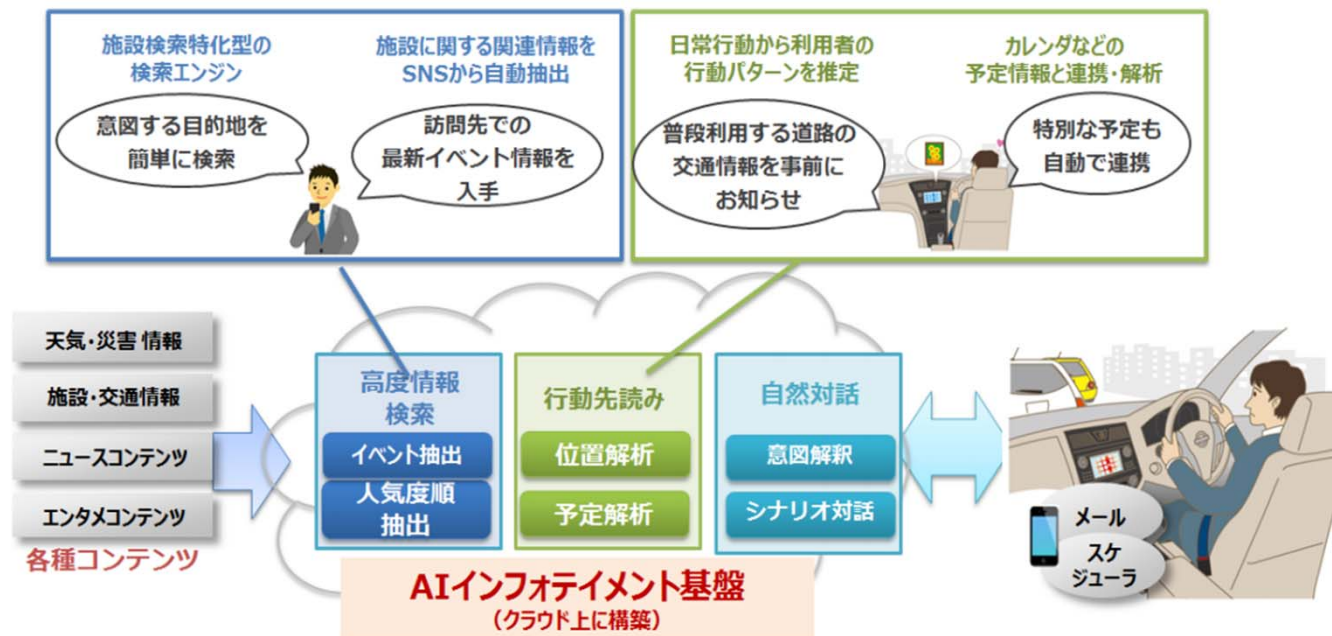
～ AI機能と連携することで自分だけのカーナビに成長 ～

当社、(株)ゼンリンデータコム、(株)NTTドコモの3社で、AI技術を活用した自動車向けの音声エージェントサービス「AIインフォテイメントサービスTM」を共同開発、カーナビメーカー等の法人企業向けに提供を開始。

当社が提供するカーナビ向け地図・コンテンツを利用するために必要なゼンリンデータコムの検索エンジンと、NTTドコモのAI技術「自然対話技術」、「行動先読み技術」、「高度情報検索技術」を、それぞれ新たに開発。

カーナビ、PND、各種車載機器、スマートフォンと連携することで、AI技術を活用した安心・便利なサービスを受けることが可能に。

<AIインフォテイメントサービスイメージ>



※1 AIインフォテイメントサービスは、NTTドコモの商標。

※2 インフォテイメントとは、Information + Entertainmentを意味する自動車業界の造語。情報と娯楽を提供するサービス

ICT

■ドローンの取り組み加速

～ 自律飛行の早期実現を目指して 実証実験開始～

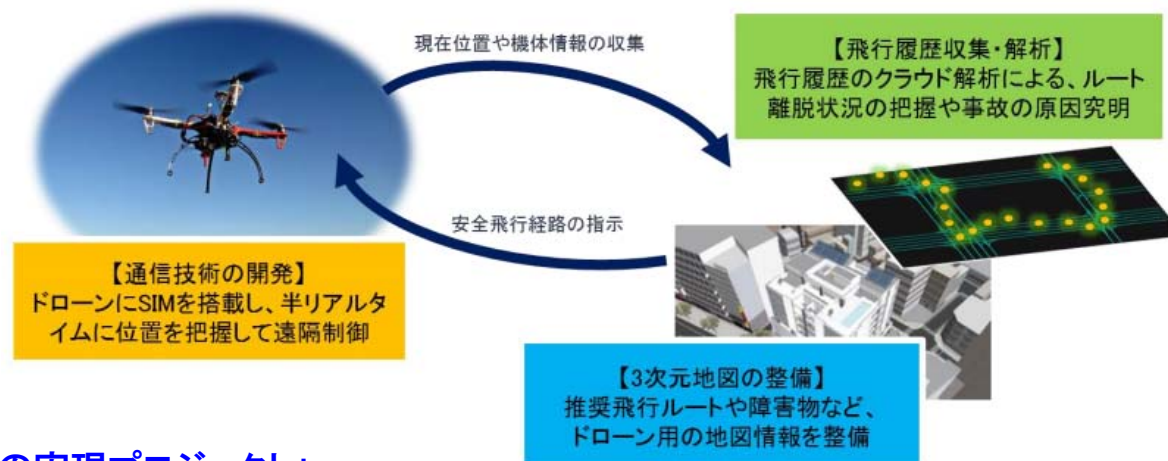
当社は、自律飛行による山間部や離島への物資の配送、災害時の対応など、社会課題の解決に活用が期待されるドローンを安全安心に運航させるための「空の3次元地図」を研究開発中。

産官学連携を積極的に推進し、各種プロジェクトにも参画。今期より実証実験も開始。

①「ドローンの都市内安全飛行の実現に向けた空の3次元地図情報の実証プロジェクト」

2016年7月の経済産業省およびIoT推進ラボの第2回先進的IoTプロジェクト選考会議「IoT Lab Selection」で、当社の同プロジェクトが受賞、同会議の支援機関であるNEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)の事業として採択。当社とNEDOは、3次元地図を用いたドローンの自動飛行支援システムの評価・検証の為、北九州市の協力のもと、実証実験を実施。(6/2実施)当実証実験で得られた知見をもとにシステムの改良を継続し、都市部での自動飛行の早期実現を目指す。

＜当社が研究を進めるドローン自動飛行支援システムの全体像＞



②「ロボット・ドローンが活躍する省エネルギー社会の実現プロジェクト」

NEDOが公募を行った同プロジェクトにおいて、当社は「無人航空機の安全航行のための空間情報基盤の開発」を提案し、助成事業先として採択。(5/16決定)

他の企業とも協業し、「無人航空機の運航管理システム及び衝突回避技術の開発」を目指す。

同プロジェクトでは、ロボットやドローンの機体開発や運用システム構築の研究開発を行うとともに、福島ロボットテストフィールドなどを活用した実証実験を予定。

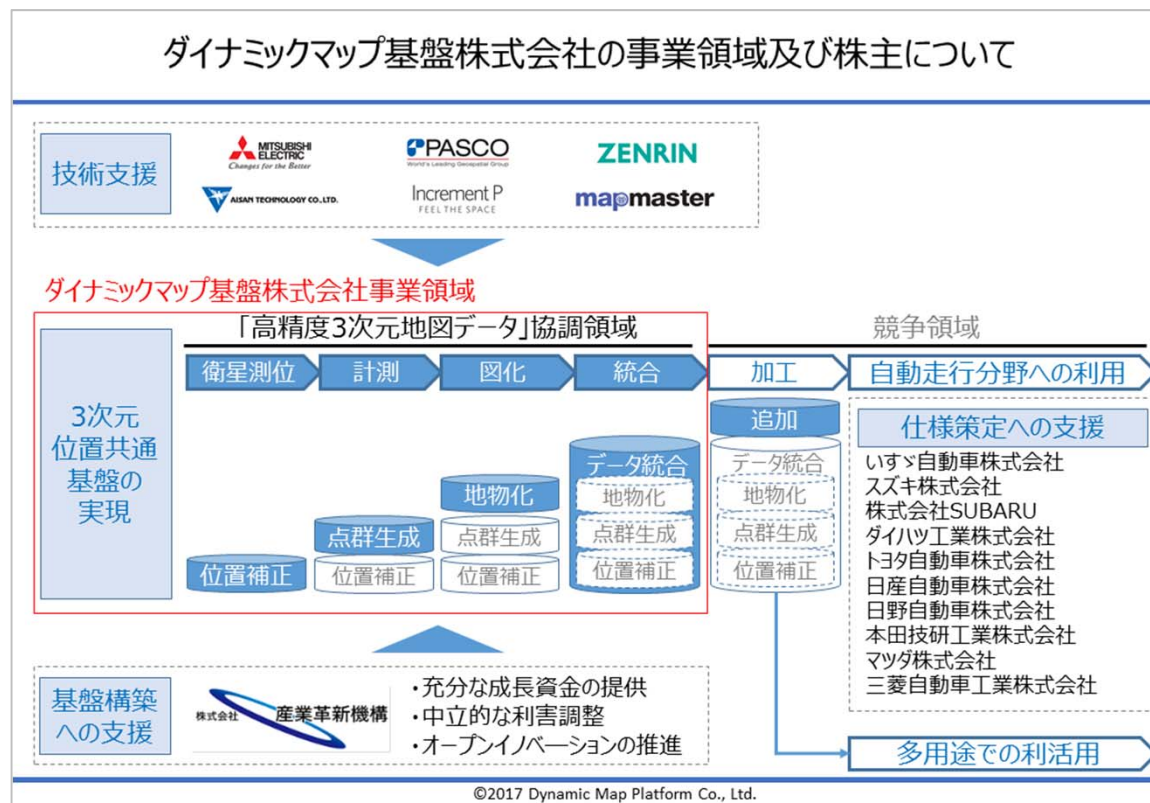
2-5)事業トピック

■「ダイナミックマップ基盤株式会社」 企画会社から事業会社へ

(2017年6月13日発表)

～ 自動走行の実現に向けた高精度3次元地図データの整備に着手 ～

2016年6月30日に当社、三菱電機(株)、(株)パスコが発起人となって設立した「ダイナミックマップ基盤企画株式会社」は、事業会社「ダイナミックマップ基盤株式会社」へ移行し、**2018年度までに全国高速道路、自動車専用道路の地図データ整備完了**に向け着手。また、事業継続における体制強化のため、第三者割当増資を実施。



「ダイナミックマップ基盤株式会社」の株主及び出資比率

会社名	出資比率
(株)産業革新機構	33.50%
三菱電機(株)	14.00%
(株)ゼンリン	12.00%
(株)パスコ	12.00%
アイサンテクノロジー(株)	10.00%
インクリメント・ピー(株)	8.00%
(株)トヨタマップマスター	8.00%
いすゞ自動車(株)	0.25%
スズキ(株)	0.25%
(株)SUBARU	0.25%
ダイハツ工業(株)	0.25%
トヨタ自動車(株)	0.25%
日産自動車(株)	0.25%
日野自動車(株)	0.25%
本田技研工業(株)	0.25%
マツダ(株)	0.25%
三菱自動車工業(株)	0.25%

(出典:ダイナミックマップ基盤株式会社)

ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン <http://www.zenrin.co.jp>
コーポレート本部 経営管理・IR部
IR問い合わせMail: zenrin-ir@zenrin.co.jp